

[抄録様式]

公益財団法人 8020 推進財団 平成28年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1. 事業名：	NPOとの協働による住民参加型歯科保健推進事業（は～もに～プロジェクト）
2. 申請者名：	新潟県歯科医師会
3. 実施組織：	は～もに～プロジェクト
4. 事業の概要：	今年度、①保育園児への巡回歯科保健指導とダンス等との連携モデル事業（ホワイトフォープロジェクト）、②在宅高齢者を対象とした配食サービスと歯科衛生士による歯科保健指導との連携モデル事業（笑顔の宅配プロジェクト）、および③地域との多様なネットワークの形成として、小学校文化祭等を通じた地域への啓発事業等を実施した。いずれの事業においても広域での普及を目指した取り組みを実施した。まだ取り組みとしては中間的な段階であり、今後とも継続した取り組みが必要である。
5. 事業の内容：	今年度、①ホワイトフォープロジェクト、②笑顔の宅配プロジェクト、および③地域との多様なネットワークの形成として、小学校文化祭やこども創造センター等を通じた地域への啓発事業を実施した。①のホワイトフォープロジェクトでは、新潟市内全公立保育園に対し案内状を配布。計28園にDVDを配布し事業に取り組んでいただいた。現在、アンケート調査を依頼し、実施状況について確認中。また、新潟市以外の保育園での取り組みとして、社会福祉法人日本保育協会新潟県支部新潟県私立保育園連盟を通じ県内の私立保育園に対し事業への参加を依頼している。②の笑顔の宅配プロジェクトでは、新潟県胎内市において約20名を対象にモデル事業を実施。胎内市では、地域の介護予防リーダー、および地域支援サポーターによる支援体制ができています。次年度には市全体に普及させ在宅訪問による連携事業を進めていく予定。本件については、NHKより継続的な取材を受けている。また、民生委員を仲介とした取り組みを検討した。一般財団法人新潟県民生委員協議会を通じて、新潟県内の民生委員を対象とした研修会を開催し、事業を進めることとなった。③の地域との多様なネットワークの形成として、地域コミュニティ協議会と連携し新潟市西蒲区で開催されたイベントでの歯科ブースの出展、および小学校の文化祭での歯科ブースの出展を実施した。さらに、新潟市が運営しているこども創造センターで「は～もに～カルタ」を用いて親子啓発事業を実施した。
6. 実施後の評価（今後の課題）：	いずれの事業においても広域での普及を目指した取り組みを実施した。まだ取り組みとしては中間段階であり、今後とも継続した取り組みが必要である。今年度の事業の中では「笑顔の宅配プロジェクト」が最も広域実施の可能性が高いと考えている。地域における在宅高齢者を訪問しお口の体操等の口腔ケアや口腔リハビリを実施することにより地域包括ケアシステムの構築にも寄与すると考えている。さらに歯科医師会がすすめている在宅歯科医療連携室事業とも連携できていることが重要な意味を持っている。